

2014年度事業報告

(2014年4月1日から2015年3月31日まで)

1. 大同生命地域研究賞の贈呈

(定款第4条第1号に該当)

大同生命地域研究賞は、地球的規模における地域の総合的研究の一層の発展を支援することを目的として、1986年に創設された。

本財団設立の目的が国際相互理解の向上にあたり、地域研究が指向する目的と基本において一致することから、この賞を設け、学会関係者の指導、協力を得て主宰してきた。

(1) 第29回 大同生命地域研究賞の贈呈

当年度の推薦書受付、選考委員会ならびに贈呈式を次のとおり実施した。

1) 推薦書受付

- ①推薦委員数：62名(2014年3月末)
- ②推薦期間：2月20日～4月末日
- ③受付件数：23件(研究賞7件、奨励賞13件、特別賞3件)

2) 選考委員会

- ①日時・場所：2014年5月19日
- ②開催場所：クラブ関西
- ③出席委員：秋道 智彌 氏(総合地球環境学研究所名誉教授)
臼杵 陽 氏(日本女子大学文学部教授)
大塚 柳太郎 氏(一般財団法人自然環境研究センター理事長)
小長谷 有紀 氏(大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 理事)
島田 周平 氏(東京外国語大学大学院 総合国際学研究院 特任教授)

④受賞者：

- ・大同生命地域研究賞(副賞 300万円)
「カンボジアのアンコール王朝を中心とする東南アジアの歴史研究と遺産修復・保存に関する地域研究」に対して
上智大学教授(特別招聘教授)、
上智大学アジア人材養成研究センター所長 石澤 良昭 氏
- ・大同生命地域研究奨励賞(副賞 100万円)
「アフリカ地域における環境と生業に関わる学際的、実践的研究」に

対して

京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授

大山 修一 氏

「モンゴルにおけるナショナリズムならびにエスニシティに関する研究」に対して

滋賀県立大学 人間文化学部 国際コミュニケーション学科

准教授 島村 一平 氏

・大同生命地域研究特別賞（副賞 100万円）

「熱帯地域における音楽文化の記録と紹介に関する啓発活動」に対して

写真家

板垣 真理子 氏

3) 贈呈式

①日時・場所：2014年10月3日

②開催場所：クラブ関西

③参加人数：約100名

(2) 大同生命地域研究賞ミニフォーラムの開催

受賞者の研究成果の披露および賞の知名度の一層の向上等を兼ねた報道、出版関係者向けの小規模なフォーラムを開催している。

2014年度は第29回の奨励賞受賞者2名を講師として開催した。

開催日	講師	テーマ	参加者
2014年 12月11日	島村 一平 氏	現代モンゴルをフィールドワークする	10名
2015年 2月25日	大山 修一 氏	西アフリカにおけるゴミ活用による砂漠化の防止－緑化と食料生産、紛争予防－	11名

(3) 「大同生命地域研究賞の贈呈」事業の改定

1) 研究奨励賞受賞者数の改定

2015年(第30回)の選考から「奨励賞」の受賞者を毎年3名にする。

2) 「大同生命地域研究賞」30周年シンポジウム

①開催日：2015年11月23日(月 祝日)

②会場：大阪大学中之島センター10階「佐治敬三メモリアルホール」

③講師等：石毛直道(元国立民族学博物館長)、酒井啓子氏(千葉大学 法政経学部 教授)、小林知氏(京都大学 東南アジア研究所 准教授)、佐川徹氏(慶應義塾大学 文学部 助教)、島田周平氏(東京外国語大学 大学院 総合国際学研究院 特任教授)

2. 翻訳出版事業

(定款第4条第2号に該当)

(1) アジア諸国の現代文芸作品の日本語翻訳出版 ＜「アジアの現代文芸」シリーズ＞

1) 新刊の発行

当年度の発行図書は次のとおりである。これにより対象国は12カ国、出版点数は64点となった

・No.63 ミャンマー⑧

(書名) 「短編集 買い物かご」
著者 キンキントゥー
訳者 斎藤 紋子

・No.64 パキスタン⑩

(書名) 「ムーサーの一撃」
著者 ムハンマド・イクバル
訳者 片岡 弘次

2) 電子書籍の発行

より多くの文学ファンに「アジアの現代文芸」の諸作品を読んでもらうよう、大同生命が2012年に創業110周年を迎えたことを契機として、紙の書籍の出版と並行して、新刊・既刊の電子書籍化を進めてきた。

- ・上記1)の新刊は、紙の書籍と同時に電子書籍を発行した。
- ・既刊は「アジアにかかる虹」(タイ)他14作品を電子書籍として発行した。

2014年度は17点(新刊2点、既刊15点)を電子書籍化した。電子書籍は当財団のHP上で公開(無料)している。

2014年度までに40点(新刊6点、既刊34点。電子書籍化率63%)を電子書籍化した。なお、既刊の電子書籍化は2014年度で概ね終了予定。
※P. 25 「〈別紙1〉 『アジアの現代文芸』電子書籍ダウンロード数」を参照。

(2) アジア各国語への翻訳出版＜「ジャパニーズ・ミラーズ」シリーズ＞

当年度の発行図書は次のとおりである。これにより対象国は8カ国、出版点数は34点となった。

・No.34 タイ語⑩

(書名) 「手塚治虫」(ポプラ社刊)

著者 国松 俊英

訳者 小林 マリナ

※2014年度内の出版を予定していた、No.35 ラオス語⑤『宮沢賢治
童話集』(訳者：チャントソン・インタヴォン)は2015年度に繰延
べとなった。

3. 教育支援事業

(1) 学校建設事業

(定款第4条第3号に該当)

勉学環境に恵まれないラオスにおいて、公益財団法人民際センター(東
京)の協力により2009年度から毎年1校計4校の学校を建設してきた。

○ドンカンクー校—2012年度建設校—

2013年12月に着工したドンカンクー校は2014年6月に竣工
し、11月26日に竣工式が行われた。

※P. 26 「<別紙2>ドンカンクー校建設状況報告(2014年6
月竣工)」を参照。

P. 27 「<別紙3>建設校所在地一覧」を参照。

予定した4校が完成したことにより学校建設事業は収束する。

(2) 学校支援事業

(定款第4条第4号に該当)

勉学環境に恵まれない東南アジアの生徒のために、次の支援を実施した。

①カンボジア：3校に図書を寄贈

②ミャンマー：3寺子屋に文房具を寄贈

③ラオス：3校に図書および図書ケースを寄贈

計 9校

「附属明細書」について

2014年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

以 上